

令和 3 年度愛知県立芸術大学音楽学部一般選抜
試験内容及び試験曲

1. 専攻別実技試験

作曲専攻 作曲コース

- (1) 4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題、バス・ソプラノ混合課題のいずれか1題が課せられます。）……………所要時間：3時間
- (2) 器楽曲作曲
与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲してください。
なお、長さ、形式、楽器編成は自由（ピアノ使用可）……………所要時間：6時間
- (3) 口述試験（面接を含む）
試験で書いた答案についての質疑応答

※【予告】

令和4年度入学者選抜より、「器楽曲作曲」は下記のとおり、試験内容及び所要時間を変更します。

（所要時間）7時間 前半3時間（ピアノなし）／後半4時間（ピアノあり）
（前半と後半の間に移動時間あり）

作曲専攻 音楽学コース

- (1) 音楽学に関する基礎的試験（音楽学の学習に必要な理論的な基礎的能力を問う試験）。
……………所要時間：論述2時間及び口述試問所要時間
- (2) 外国語（英、独、仏から1科目）。解釈の能力を問う試験。……………所要時間：1時間

声乐専攻（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）

- 課題曲 1 曲と自由曲 1 曲を暗譜で演奏してください。

課題曲：次にあげられた課題選択曲のうち、必ず2つ以上のグループから、合計4曲を選び、
曲目提出用紙に記入し入学願書の提出書類とともに提出してください。うち1曲を当日
指定します。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

a. 『イタリア歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|---------------------------------|--------------------------|--------------|
| 1. | V. Bellini | Ma rendi pur contento | (Ges, As) |
| 2. | V. Bellini | Vaga luna, che inargenti | (G, As, C) |
| 3. | G. Bononcini | Per la gloria d'adorarvi | (Es, F, G) |
| 4. | A. Cesti | Intorno all'idol mio | (d, e, f) |
| 5. | F. Durante | Vergin, tutto amor | (h, c, d) |
| 6. | G. Giordani [T. Giordani] | Caro mio ben | (Des, Es, F) |
| 7. | G. B. Pergolesi [A. Parisotti?] | Se tu m'ami | (es, f, g) |
| 8. | A. Scarlatti | Già il sole dal Gange | (G, As, B) |
| 9. | A. Scarlatti | Se Florindo è fedele | (G, As, B) |
| 10. | A. Scarlatti | Se tu della mia morte | (f, g) |

b. 『ドイツ歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---------------------|
| 11. | J. Brahms | Dein blaues Auge | (D, Es) |
| 12. | F. Mendelssohn Bartholdy | Auf Flügeln des Gesanges | (F, G, As) 第1節及び第3節 |
| 13. | F. Schubert | An die Musik | (B, C, D, E) |
| 14. | F. Schubert | Frühlingsglaube | (F, G, As) |
| 15. | F. Schubert | Seligkeit | (C, D, E) 第1節及び第2節 |

c. 『日本歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|-------|-------------|---------------------|
| 16. | 小松 耕輔 | 母 | (F, G, As, A) |
| 17. | 中田 喜直 | 風の子供 | (B, Des) |
| 18. | 成田 為三 | 浜辺の歌 | (F, As, A) 第1節及び第2節 |
| 19. | 信時 潔 | 北秋の（「沙羅」より） | (Des, D) |
| 20. | 山田 耕筰 | かやの木山の | (C, D) |

- 曲目に記入してある各調の楽譜は、本学に用意してあります。

大文字は長調、小文字は短調を示します。

- 『イタリア古典歌曲』については、基本的に全音楽譜出版社版（畑中良輔 編）を使用します。

上記の [] 内の作曲者名は、その第1巻新版（2012年11月刊）によるものです。

- 時間の都合により、演奏をカットすることがあります。

自由曲：課題曲として提出した4曲以外のもの1曲を提出。（前掲の課題選択曲の中から提出する事も可）原則として、曲目提出後の変更は認めません。

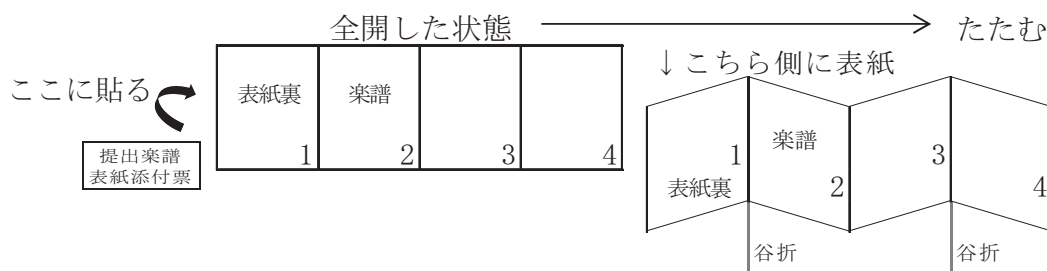
所要時間3分以上の曲については曲の途中でカットします。

歌曲（一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む）の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラ、オラトリオのアリアについては原調とします。歌詞は原則として原語とします。

- F. Wüllner : Chorübungen I No. 37 a) ～No. 77 d)の中から1曲を試験の際に指定します。
大阪開成館『全訳コールユーブンゲン』（信時潔 訳）を使用します。

提出楽譜についての注意：

- 1) 自由曲伴奏楽譜は、各自必ず提出してください。
 - 2) 課題曲においても本学に用意してある調以外の調で歌う場合は、自分の選んだ調の伴奏楽譜を必ず「入学願書」に添えて提出してください。
 - 3) 提出楽譜は、1頁をすべてA4の大きさに統一し、**屏風状**に作成してください。
提出楽譜には、伴奏部に添えて必ず歌唱部と歌詞を記入してください。
手書きの場合は、丁寧かつ正確に清書してください。（鉛筆書きの場合は、鮮明にコピーしたものを提出してください。）
 - 4) 提出楽譜には、1曲ごとにA4の表紙を付け、必要事項（氏名、声種も忘れずに）を記入した「提出楽譜表紙添付票」を表紙左上隅に貼付し、2ページ以降が楽譜となるようにしてください。
 - 5) 「提出楽譜表紙添付票」が不足する場合は、コピーして使用してください。
- 以上の規定に反したものは、原則として受け付けません。



器楽専攻 ピアノコース

課題曲：

- ① J. S. Bach: 平均律クラヴィーア曲集第1巻または第2巻より任意の1曲
- ② F. Chopin: 練習曲集 Op.10 または Op. 25 より任意の1曲
- ③ L. v. Beethoven: ピアノ・ソナタより任意の1曲（全楽章）
- ④ 1950年までに作曲された任意のピアノ独奏作品（複数曲も可）※

※出版された作品に限ります。

※①②③で選択した曲と内部奏法等の特殊奏法を用いた作品を除きます。

※ソナタ・組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めません。

第1次試験

2会場で実施します。

A会場 ①と②を演奏してください。①と②の演奏順は自由です。ただし、①はプレリュードから演奏してください。

B会場 ③のソナタの第2楽章以降を演奏してください。ただし、Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109を選択した場合は、第3楽章以降を演奏してください。

第2次試験

1会場で実施します。

③のソナタの第1楽章を演奏してください。ただし、Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109を選択した場合は、第1楽章と第2楽章を演奏してください。

その後、④を演奏してください。

第1・2次試験 共通

- ・全曲暗譜で演奏してください。
- ・繰り返しなしで演奏してください。（ただし24小節以内の繰り返しは自由）
- ・実技試験進行の都合により演奏を途中でカット、または演奏箇所を指定する場合があります。
- ・曲目提出用紙は、入学願書の提出書類とともに提出してください。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

器楽専攻 弦楽器コース

器楽専攻弦楽器コース共通事項

- ・ 繰り返しなし、暗譜で演奏してください。
- ・ 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

器楽専攻弦楽器コース提出用紙について（入学願書の提出書類とともに提出してください。ハープを除く。）

- ・ ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの受験者は、提出用紙に、課題曲 b) 及び自由曲の作曲者名、曲名を欧文で記入してください。
- ・ ヴァイオリン受験者は、第2志望（ヴィオラ）の有無にも○を付けてください。
- ・ コントラバス受験者は、楽器借用希望の有無に○を付けてください。
- ・ 原則として、曲目提出後の変更は認めません。

ヴァイオリン

（1）課題曲

a) Carl Flesch: Scale System より

As-dur No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) 次の4つの練習曲集、もしくは同等以上の練習曲集より任意の1曲を選択し演奏してください。

J. Dont: 24 Etüden und Capricen Op. 35

P. Rode: 24 Capricen

P. Gaviniès: 24 Etüden

N. Paganini: 24 Capricen Op. 1

（2）自由曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

ヴィオラ

（1）課題曲

a) Carl Flesch: Scale System より

任意の調性 No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) B. Campagnoli: 41 Caprices もしくは J. Palaschko: 20 Studies Op. 36 より任意の1曲

（2）自由曲

古典派以降の任意のヴィオラ協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

チェロ

(1) 課題曲

a) J. Loeb: Gammes et arpèges より

D-dur 4 オクターブの音階、4 オクターブの分散3度を、4 つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペッジョを、3 つずつのスラーで。

2 オクターブの3度重音、2 オクターブの6度重音を、スラー無しのレガートで。

b) J. L. Duport: The 21 Famous Exercises (Etudes) より任意の1曲

(2) 自由曲

古典派以降のチェロ協奏曲(カデンツァを含む)もしくは古典派のチェロソナタより任意の楽章。

コントラバス

(1) (2) 共にオーケストラ・チューニングで演奏してください。

(1) 課題曲

a) 音階 C-dur 2 オクターブ 譜例参照



b) F. Simandl: 30 Etudes for string bass より No. 17、18、25、26 の中から任意の1曲

(2) 任意の自由曲

ハープ

ハープ受験者は、本学で用意した楽器で演奏します。楽器の持ち込みは不可です。

(1) 課題曲

a) R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes Cinquante Etudes Op. 34 第2巻より No. 30 及び No. 41

b) F. J. Naderman: 7 Sonates progressives より No. 2 Prélude と Sonatina

(2) 自由曲はありません。

器楽専攻 管打楽器コース

器楽専攻管打楽器コース共通事項

- ・課題曲等について、暗譜の要否の記載がない場合は、暗譜の必要はありません。
- ・第2次試験の伴奏者については、本学で用意します。
- ・第2次試験の初見の問題例は、以下のとおりです。

管打楽器コース第2次試験 初見 問題例

Clarinet in B $\flat$



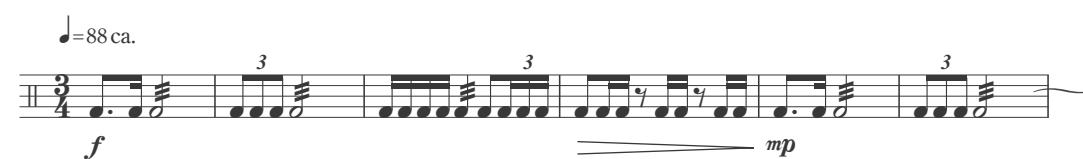
Bassoon



Horn in F Trumpet in B $\flat$



Snare Drum



フルート

第1次試験

(1) 課題曲

- a) 下記の5曲より当日指定します。(繰り返しなし、版の指定はしません)

J. Andersen: 24 Studies Op. 21 より No. 1、2、10、13、24

- b) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。選択した曲の番号は、受験票および受験者写真票の「区分」欄に、楽器種別とともに記入してください。(例：フルート①)
原則として、曲目提出後の変更は認めません。

① E. Bozza: Image (Leduc 版) 冒頭～2ページ3段目 Lento 後のフェルマータまで

② A. Honegger: Danse de la Chèvre 冒頭～48小節目まで(版の指定はしません)

③ J. Ibert: Piece pour Flute Seule 冒頭～59小節1拍目まで(版の指定はしません)

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

W. A. Mozart: Concerto in D major K. 314 より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。(共にカデンツァなし、版の指定はしません)

(2) 初見

オーボエ

第1次試験

(1) 課題曲

W. Ferling: 48 Études より (版の指定はしません)

No. 21、22、23、24、25、26、27、28、29、30の中から当日指定します。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. J. Haydn: Concerto (Breitkopf 版) より 第1楽章

(2) 初見

クラリネット

第 1 次試験

(1) 課題曲

C. Rose: 32 Etudes より (版の指定はしません)

No. 15～No. 28 の中から当日指定します。

(2) 音階

Rolf Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学教育出版部) 全部の音階中、No. 1 の中から当日指定します。ただし、暗譜で演奏してください。

レガート及びスタッカートで演奏してください。

第 2 次試験

(1) 課題曲

F. Krommer: Konzert für Klarinette und Orchester Es-dur Op. 36 より (版の指定はしません)

第 1、第 2 楽章

(2) 初見

バスーン (ファゴット)

第 1 次試験

(1) 課題曲

Julius Weissenborn: 50 Bassoon Studies Op. 8 Vol. II より (版の指定はしません)

No. 1～No. 14 の中から当日指定します。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。楽譜を見ないで演奏してください。

第 2 次試験

(1) 課題曲

Antonio Vivaldi: Concerto in D minor Op. 45- 7 (F. VIII-5) (International Music Company 版) より

第 2 楽章 (♩ = ca. 66) 及び第 3 楽章 (♩ = ca. 108)

(2) 初見

サクソフォーン

第 1 次試験

(1) 課題曲

W. Ferling: 48 Études (Leduc 版) より

No. 5、6、13、14、19、20、21、22、29、30、31、32 の中から当日指定します。

(2) 音階

サクソフォーンのためのトレーニングブック 須川展也 編 (音楽之友社) より

①を全調より、当日指定します。

テンポは ♩ = 100 とします。

アーティキュレーションは、スラーおよびスタッカートとし、当日指定します。

暗譜で演奏してください。

第 2 次試験

(1) 課題曲

A. Glazounov: Concerto en Mi ♭ Op. 109 (Leduc 版) より 冒頭から練習番号 16 まで

(2) 初見

ホルン

第 1 次試験

(1) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for French Horn, Book I (全音楽譜出版社)

No. 15 は必須課題。

No. 14、17、18、28 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。Low F、B♭ のフルダブルホルンを使用してください。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第 2 次試験

(1) 課題曲

W. A. Mozart: Horn Concerto No. 3 K. 447 (Bärenreiter 版)

第 1 楽章 (カデンツァなし)

(2) 初見

(注) ディスカントホルン (ハイ F 管等) を使用しないでください。

トランペット

第 1 次試験

(1) 課題曲

a) Arban: 14 Characteristic Etudes (ISE Collection) より No. 1、2、3 の中から当日指定します。

b) C. Colin: Advanced Lip Flexibilities Vol. 1 (CHARLES COLIN) より 17 番

(2) 音階

Arban: Complete Grand Method (ISM Collection 全音楽譜出版社)

65～81 ページより当日指定します。

第 2 次試験

(1) 課題曲

C. Saint-Saëns: Fantasic en mi bémol (Leduc 版)

(2) 初見

トロンボーン

第1次試験

(1) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. 19、26 は必須課題。

No. 18、20、22、23、27、29、35 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. David: Concertino in E ♭ Op. 4 (Zimmermann 版) より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。

(2) 初見

バストロンボーン

第1次試験

(1) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. (19)、26 は必須課題。

No. (7)、(8)、(13)、(14)、(17)、18、20、23 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

※注 () の課題は1 オクターブ下げて演奏してください。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. David: Concerto (Concertino) in B ♭ for Bass Trombone (Zimmermann 版) より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。

(2) 初見

ユーフォニアム

第 1 次試験

(1) 課題曲

- a) J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) Book 1 より
No. 5、8、10、16、18、20 (新版を使用してください)
- b) C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より No. 14、17、23、24、27、32
- a)、b) より各 1 曲を当日指定します (繰り返しなしで演奏してください)。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第 2 次試験

(1) 課題曲

- A. Capuzzi: Andante and Rondo (from Concerto for D. Bass) (Hinrichsen 版 1474)

(2) 初見

テューバ

第 1 次試験

(1) 課題曲

- C. Kopprasch: 60 Selected Studies for BBflat Tuba
(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 278) より
No. 15 は必須課題。
No. 6、7、13、18、19、21、26 より当日指定します。

(2) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2 オクターブを任意の形で、楽譜を見ないで演奏してください。

第 2 次試験

(1) 課題曲

- J. S. Bach / William J. Bell 編曲: Air and Bourree (C. Fischer 版 No. W1647)

(2) 初見

打楽器（スネアドラム）

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参してください。

※マリンバおよびティンパニは本学の楽器を使用してください。

※演奏を途中でカットすることがあります。

第 1 次試験

① ルーディメンツ

Collection Drum Solos (Ludwig Masters 版) 2 ページと 48 ページ (No. 1 から No. 26) の中から当日指定します。

いずれも「非常に遅く→非常に速く→非常に遅く」のスタイルで演奏してください。

② All-American Drummer (Ludwig Masters 版)より

Wilcoxon's 132nd、133rd、134th、135th、136th、137th、138th の中から当日指定します。

第 2 次試験

(1) 課題曲

① Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule (HOFMEISTER 版)より

【25 番】および【27 番、29 番、30 番、39 番より当日指定】

② ティンパニで [楽譜⑧] を演奏してください。[楽譜⑧]

③ マリンバで音階 [楽譜⑨] を、暗譜で演奏してください。

すべての長調、短調の中から当日指定します。

2 オクターブ、往復、短調は 1 回目と声短音階、2 回目旋律短音階 [楽譜⑨]

(2) 初見

打楽器（マリンバ）

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参してください。

※マリンバおよびティンパニは本学の楽器を使用してください。

※演奏を途中でカットすることがあります。

第 1 次試験

① マリンバで音階 [楽譜⑩] を、暗譜で演奏してください。

すべての長調、短調の中から当日指定します。

3 オクターブ、往復、短調は 1 回目と声短音階、2 回目旋律短音階 [楽譜⑩]

② J. S. Bach: Violin Partita No. 3 in E, BWV 1006 より “Preludio”

(版の指定なし、実音で 2 本マレットで演奏すること)

第 2 次試験

(1) 課題曲

① Alfred Fissinger: Suite for Marimba より “Esch s/ Sure” と “Bastogne Convoy” (版の指定なし)

② スネアドラムで [楽譜⑪] を演奏してください。[楽譜⑪]

(2) 初見

Ⓐ

Marimba

♩ = 96

Ⓑ

Timpani

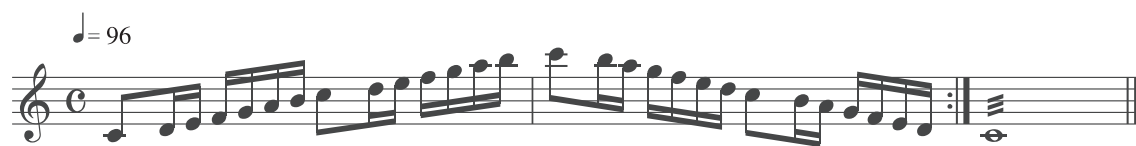
♩ = 92

p crescendo *f* decrescendo *mf*

f crescendo *mf* decrescendo *mp*

©

Marimba



©

Snare Drum

5 str. 9 str. 9 str. 11 str. 11 str. Single Paradiddle Double Ratamacue

R R L L R R L L R R L L R R L R L 3 R 3

5 10 str. 10 str. Single Stroke Roll Flamaue

R L L R L R L L R L R L R L R L R L R L R L R

8 60 Closed Roll

p *ff* *p* 3 *tr*

2. 副 科 試 験

■ピ ア ノ（器楽専攻ピアノコースを除く）

J. S. Bach: Inventionen BWV772～786

J. S. Bach: Sinfonien BWV787～801

上記より任意の1曲を選択し、暗譜で演奏してください。（繰り返しなし）

時間の都合で演奏を一部省略することがあります。

■新曲視唱

歌詞をとみなわない初見視唱 1 題

■聴 音

○作曲専攻作曲コース

- （1）単旋律課題 1 題
- （2）2 声の旋律課題 1 題（上声は高音部記号により大譜表の上段に、下声は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）
- （3）4 声の和声課題 1 題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻

- （1）単旋律課題 1 題
- （2）4 声の和声課題 1 題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

■楽 典（作曲専攻作曲コースを除く）

音楽の学習に必要な基礎知識一般（所要時間：1 時間）

令和 3 年度 愛知県立芸術大学音楽学部一般選抜試験問題

I 和声課題 (作曲専攻作曲コース)

次のバス課題を 4 声体で実施しなさい。

Andante

mp

mf

poco rall. a tempo

dim. ----- mp

rit.

dim. p

II 器楽曲作曲 (作曲専攻作曲コース)

次の 2 つのモチーフのうち、どちらかを用いて器楽曲を作曲しなさい。

テンポ、強弱、音域、形式および楽器編成は自由。

☆注

☆注

最後の音符の長さは自由。

また、最後のスラーをどこまで続けるかも自由。

Ⅲ 音楽学に関する基礎的試験（作曲専攻音楽学コース）

【試験問題】

問題1

別紙1※の文章を読んで、答えてください。

21世紀における音楽のあり方はどのようなものになってきていると考えますか。

（文字数の制限はありません。）

出典 沼野雄司『現代音楽史』

問題2

別紙2※の文章を読んで、答えてください。

筆者の問いかけ（ 線）に対して、あなたはどのように考えますか。論じてください。

（文字数の制限はありません。）

出典 遠藤薫『メタ複製技術時代の文化と政治』

※本学管理棟3階 入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

【出題の意図】

学部において音楽学研究をおこなうにあたって必要となる読解力、および論述力を備えているかを問う。

Ⅳ 外国語（作曲専攻音楽学コース）

問題1

和訳してください。

出典 Burkholder, J. Peter, and Claude V. Palisca. eds. *Norton Anthology of Western Music*, Vol. 2. New York: W. W. Norton & Company, 2019.

問題2

和訳してください。

出典 Charles Rosen, “The Future of Music” in *Freedom and the Arts: Essays on Music and Literature*. Cambridge, MA.: Harvard University Press, 2012.

【出題の意図】

学部において音楽学研究をおこなうにあたって必要となる外国語の能力を備えているかを問う。

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

V 楽典（作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻）

【試験問題】

譜例（ファニー・メンデルスゾーン＝ヘンゼル作曲《5つの歌曲 Op.10》より第4曲〈秋に〉から1～18小節目）をみて、以下の各問いに答えなさい。

1. (ア)～(コ)の音程を日本語で答えなさい。ただし複音程は単音程に直して考えること。また異名同音程同士(例:「イとキ」)および転回音程同士(例:「イとキ」)の音程をすべて選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号を重複して使用してもよい。
2. A～Fに示されている箇所での鳴っている各和音の種類(例:「長三和音」等)とその転回形(例:「基本形」「第1転回形」等)を答えなさい。

3. G～Lに示されている箇所を和音に要約した場合、適切なものを選択肢から選び数字で答えなさい。

4. 譜例について説明した以下の文章のa～pの下線部について、正しい言葉の番号を下枠の選択肢より選び、番号で答えなさい。なお、必要であれば同じ番号を重複して使用してもよい。

この楽譜の冒頭には強弱の指示がないが、「Adagio」と示されていることから a 歌われる。調号の通り最初は b 調から始まるが、7小節目では一時的に c 調に転調しかけながら、Xに示された箇所では主調からみた d 調にあたる e 調で一旦終止する。続くYでは、Xからみた f 調の g 調にあたる h 調に転調するが、この調は調号であれば i 調を用いることから、それまでの調からは遠い「遠隔調」にあたることから、次の楽節に入ったことが示される。しかし j 小節目では、7～8小節目に提示された音型が再利用されていることから、相互の楽節は無関係ではなく、むしろ強く関連付けられているといえる。

この曲の作曲者は有名なフェーリクス・メンデルスゾーン・バルトルディの姉にあたり、k 世紀すなわち m の時代に生きた(国名) n の作曲家である。当時の社会では才能豊かであっても女性がプロフェッショナルの作曲家になることは難しく、弟の名で発表された曲もあった。そのため彼女の作品は小編成、特に歌曲が多いが、このように k 世紀に n 文化圏で書かれた歌曲を o と呼ぶ。

- | | | |
|-------------|---------------|-----------|
| 1. 遅く静かに | 2. 中庸の速さと大きさで | 3. 速く高らかに |
| 4. ニ短 | 5. 変口長 | 6. ト短 |
| 7. 変ホ長 | 8. ハ短 | 9. 変ニ長 |
| 10. 変口短 | 11. 変ト長 | 12. 変ホ短 |
| 13. 属 | 14. 下属 | 15. 平行 |
| 16. 同主 | 17. 5 | 18. 6 |
| 19. 7 | 20. 8 | 21. 9 |
| 22. 10 | 23. 2～3 | 24. 4～5 |
| 25. 6～7 | 26. 8～9 | 27. 13～14 |
| 28. 15～16 | 29. 17～18 | 30. 17 |
| 31. 18 | 32. 19 | 33. 20 |
| 34. 21 | 35. ルネサンス | 36. バロック |
| 37. 古典派 | 38. ロマン派 | 39. 国民楽派 |
| 40. ベルギー | 41. イギリス | 42. フランス |
| 43. イタリア | 44. ドイツ | 45. シャンソン |
| 46. リート | 47. カント | 48. メロディ |
| 49. マハーバーラタ | | |

5. XとYの声楽パート（Singstimme）を階名で歌うとしたら何が適切か、それぞれ選択肢から選び数字で答えなさい。

X: 1. ミ・ミ・レ・ド 2. ファ・ファ・ミ・レ 3. ソ・ソ・ファ・ミ 4. ラ・ラ・ソ・ファ

Y: 1. ソ・ソ・ソ・ファ・ミ・ファ・ミ・レ 2. ド・ド・ド・シ・ラ・シ・ラ・ソ
3. ファ・ファ・ファ・ミ・レ・ミ・レ・ド 4. ラ・ラ・ラ・ソ・ファ・ソ・ファ・ミ

6. 16～17小節目のピアノパートを、臨時記号を用いて短3度下に移調しなさい。

7. (イ)の二つの音を同時に含む長調を、属調の同主調とする調の音階上行形を、アルト譜表上に全音符および調号を用いて主音から主音まで書きなさい。ただし、短調の場合は和声短音階で書くこと。

(問題ここまで)

【譜例】

Adagio

The musical score is for a piece in Adagio tempo, 3/4 time, key of B-flat major. It consists of a vocal part (Singstimme) and a piano part (Pianoforte). The score is divided into measures 1 through 18. The vocal part has lyrics in German. The piano part features various musical markings and annotations. Key markings include: (A) above measure 4, (B) above measure 6, (C) above measure 9, (D) above measure 12, (E) above measure 14, (F) above measure 17. Key annotations include: (イ) pointing to measure 6, (カ) pointing to measure 14, (ク) pointing to measure 16, (コ) pointing to measure 17, (キ) pointing to measure 18. Key markings on the piano part include: (G) below measure 4, (H) below measure 5, (I) below measure 7, (J) below measure 12, (K) below measure 14, (L) below measure 16. A bracket labeled 'X' spans measures 9 to 14, and a bracket labeled 'Y' spans measures 12 to 17.

【解答】

1. (音程) ア 短3度 イ 増4度 ウ 完全5度 エ 長7度 オ 減7度
 カ 短2度 キ 減5度 ク 完全4度 ケ 長2度 コ 長6度

(異名同音程) オとコ

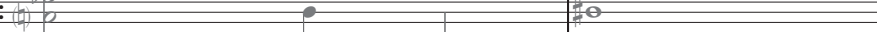
(転回音程) ウとク、エとカ、アとコ

- | 2. | 和音の種類 | 転回形 | 和音の種類 | 転回形 | |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| A | 長三和音 | 第1転回形 | B | 減三和音 | 基本形 |
| C | 属七の和音 | 基本形 | D | 短三和音 | 第2転回形 |
| E | 長三和音 | 基本形 | F | 減七の和音 | 基本形 |

3. G 1 H 2 I 2 J 1 K 2 L 2

4. a 1. b 6. c 8./14. d 15. e 5. f 14. g 16. h 12.
i 18. j 28. k 32. m 38. n 44. o 46.

5. $X \frac{3}{4}$ $Y \frac{3}{4}$ どちらでも可

6. 

7.

VI 聴音（旋律）

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20 秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

旋律



○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20 秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

旋律



Ⅶ 聴音（2声）（作曲専攻作曲コース）

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。
20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

2声

Ⅷ 聴音（4声）

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

4声

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

4声

Ⅸ 新曲視唱

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。

Moderato

mp mf

p

rit. ----- a tempo rit. -----

f mp p

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。

Moderato*con brio*

mf f mf

f mf f mp mf

rit. ----- a tempo

ff sub. p mf p